

みよし市公共施設等総合管理計画(案)のパブリックコメント結果について

本計画(案)について、パブリックコメント制度による意見募集をした結果、市民の皆さまから貴重なご意見をいただきまして大変ありがとうございました。寄せられたご意見について、みよし市の考え方を公表いたします。

■実施期間：平成29年1月15日（日）から平成29年2月14日（火）まで

■意見数：11件（3人）

■寄せられたご意見と市の考え方

| 意見No. | 該当箇所 | ご意見の趣旨 | 市の考え方 |
|-------|------|---|--|
| 1 | P36 | <p>1 将来にわたり安全安心な公共施設等の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設情報の一元管理についての説明。 施設情報の一元管理について、これまでの管理と一元管理との違いは。 | <p>本市では、公共施設等に関する情報は施設所管課ごとに管理されており、整備や修繕、維持管理は施設所管課が主体となって行っています。</p> <p>しかし、公共施設等全体を総合的かつ計画的に管理していくためには、修繕や建替えに当たっての優先順位の検討などを行う必要があるため、劣化点検の結果等の施設情報を、全庁的な取組体制として組織する「(仮称) みよし市公共施設等総合管理計画推進会議（プロジェクト会議）」において、事務局である財政課が一元管理していきます。</p> |
| 2 | P36 | <p>2 計画的な保全による施設の長寿命化</p> <p>メンテナンスサイクル<定期点検→診断→修繕→記録→(次回定期点検)>の構築とあるが、これまで行われてきたメンテナンスとの違いは。</p> | <p>これまでに行われてきたメンテナンス（施設の修繕）の状況は、一部の施設では壊れたら直すといった事後保全的な管理を行ってきました。</p> <p>今後は、メンテナンスサイクルを確立し、計画的な修繕による予防保全的な管理を全施設に広げ、施設の長寿命化を図っていきます。</p> |

| 意見 No. | 該当 箇所 | ご意見の趣旨 | 市の考え方 |
|-----------|----------|--|---|
| 3 | P36 | <p>2 計画的な保全による施設の長寿命化</p> <p>長寿命化は行うべきと考えます。</p> <p>ただ、鉄筋コンクリートの建物寿命は長くても100年と言われていています。</p> <p>今後、建築する建造物の素材としてローマンコンクリートを検討する価値があると思います。普通のコンクリートの材料の他に火山灰を加えたものです。パンテオンはこの素材で作られており、地震の多い国であるのに、2,000年生き延びています。耐震性など検討課題は多いと思いますが、魅力的な素材です。数十年ごとに建て替えるより、この素材を用い、時代が変わっても対応できるように突飛なデザインを避け、汎用性のあるデザインにて数千年にわたって使い続けたほうがいいのではないのでしょうか。</p> | <p>ローマンコンクリート自体は国内で使用された実績はありませんが、似たような性質を持つ火山灰を配合したコンクリートを、試験的に一部の地域で縁石ブロックなどの小規模な土木構造物として使用した実績があります。しかし、火山灰の粒度が不均一であるなどの問題等により、一般に建築資材として市場には流通していません。</p> <p>今後、商品開発が進み、市場性の高い資材となった場合には、用途を考慮した上で、その特性や経済性などを他資材と比較検討の上、採用について検討します。</p> |
| 4 | P36 | <p>3 施設の総量の抑制と有効活用</p> <p>みよし市は平成になって急速に人口増加を遂げた「新しい市」とも言え、他の多くの自治体の悩みである、施設の統廃合時の反発（地域圧力、政治圧力等）が比較的少ないと思われるため、施設量の適正化（総量抑制）を速やかに進め、早期に健全かつ持続可能な財務体質を構築すべき。</p> | <p>施設の総量については、本市の人口が、当分の間、除々に増加していくことや、少子高齢化による市民ニーズの変化に対応するために、今後いくらかの施設の整備が必要であるため、当面は施設の総量を維持していきます。</p> <p>しかし、安易な新規整備は行わず、既存の施設の活用や用途変更による転用などの可能性について検討したり、施設の建替えや大規模改修時に、現状のまま更新することが不相当と判断される場合は、施設の複合化や多機能化などの手法を検討したりして、中長期的には施設の総量を抑制し、財政的な負担を抑えていきます。</p> |
| 5 | P37 | <p>1 公共建築物ー●個別の分野</p> <p>集会施設等の維持管理と運営について、地区の施設（各行政区）の老朽化状況と更新及び再整備の年次計画は。</p> | <p>集会施設については、現時点で更新や再整備の年次計画はありません。</p> <p>本計画策定後は、各施設の老朽化状況を調査し把握した上で、個別施設計画を策定し長寿命化を図っていきます。なお、更新時期が到来した時には、徐々に機能集約や時代のニーズに応じた用途変更を検討していきます。</p> |

| 意見 No. | 該当 箇所 | ご意見の趣旨 | 市の考え方 |
|-----------|----------|---|--|
| 6 | P38 | <p>2 インフラ資産－●個別の分野</p> <p>計画の中で、道路の大型交通への対応として「修繕時に舗装構成の見直しを行う」との記載があるが、特に都市計画道路三好ヶ丘駒場線の緑丘小学校付近と打越町の国道153号より北側付近の舗装があまりに劣化が早すぎるように感じるため、そのような箇所は（劣化原因の特定及び対策検討の上）コンクリート舗装等も検討してはどうか。</p> | <p>市道については、市内各路線の路面状況を調査した上で、舗装構成の見直しを含め効果的な修繕工法について検討し修繕を行っています。</p> <p>コンクリート舗装は修繕間隔を延ばせるメリットはありますが、埋設物の維持管理をする上で掘削が困難となるデメリットもあるため、経済性や路線の特性などを総合的に考慮し、効果的な修繕を実施していきます。</p> |
| 7 | P40 | <p>(6) 統合や廃止の推進方針－公共建築物</p> <p>公共建築物で、統合・廃止・複合化が考えられる施設には、どのようなモノがあるか。</p> | <p>公共建築物の統合・廃止・複合化については、大規模改修や更新のタイミングで検討し、総量を抑制しながら公共サービスの維持、向上に努めていきますが、現時点で検討している施設はありません。</p> <p>将来、検討対象として考えられる施設としては、利用者が少ない施設、当初の整備目的が達成された施設、老朽化している施設などが考えられます。</p> |
| 8 | P40 | <p>(6) 統合や廃止の推進方針－インフラ資産</p> <p>道路インフラ量の適正化は、高齢者の交通事故対策やバス等の公共交通計画なども含め、施策として総合的に進めていくべき。</p> | <p>地域の産業・経済・社会活動を支える道路インフラについては、市内外の人の交流や物の円滑な流通を考慮しながら整備を行っています。</p> <p>今後においても、まちづくり基本計画や交通基本計画などの各計画と連携し、高齢者の事故対策やバス等の公共交通などを含めた総合的な視点に立って、本市の発展に繋がるような道路インフラの整備を検討し、適正化を図っていきます。</p> |
| 9 | P40 | <p>(7) 総合的かつ計画的な管理の実施体制</p> <p>連携体制の構築…どこの部署が一元的に管理することになるのか。</p> | <p>全庁的な取組体制として「(仮称) みよし市公共施設等総合管理計画推進会議 (プロジェクト会議)」を組織し、財政課が事務局として一元管理をしていきます。</p> |

| 意見 No. | 該当 箇所 | ご意見の趣旨 | 市の考え方 |
|-----------|----------|--|---|
| 10 | P41 | <p>7-1 全庁的な計画推進体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「プロジェクト会議」ではどのようなことを検討するのか。具体的に。 ・専門職員等とはどのような部署の職員で、職員数は。 ・外部からの専門職委員を入れる考えは。 | <p>「プロジェクト会議」では長寿命化計画などの個別施設計画と本計画との調整を行います。また、施設情報を一元管理した上で、修繕や建替えに当たっての優先順位の検討を全庁横断的に行います。</p> <p>専門職員等は、インフラ資産や公共建築物の専門的な知識を有する土木・建築技師をメンバーに加えることを考えていますが、人数については今後検討していきます。また、外部から専門的な知識を有する委員を加えることについては、必要に応じて検討していきます。</p> |
| 11 | P44 | <p>8-2 計画的見直しによる進行管理</p> <p>築年別用途別施設、将来人口推計値も示されている。40年間という長期の計画であることを勘案すれば、この計画において各公共施設の年次目標を示すべきではないか。その上で必要に応じて5年を目途に見直しを行うことになるのでは。</p> | <p>本計画は、市が所有する全ての公共施設等を総合的かつ計画的に管理していくための基本的な方針を示す計画であります。</p> <p>個別の施設については、本計画の基本方針や各施設の所管省庁から示される指針等を踏まえ、長寿命化計画などの個別施設計画を策定していきます。その中で、各公共施設の年次計画や管理方針について示していきます。</p> |